

③ 化石は語る 海で結ばれた人々

★印の所が
ヒントよ♪



過去に地球で起こった現象を理解する上で、大きな役割を果たしているのが「化石」です。化石が産出する以上、そこに生物が生存していたのは事実だからです。ここでは「化石が語る歴史」について考えてみましょう。

1. 沖縄で採取できる化石を時代ごとに分類し、その化石から考えられることを選んで○で囲ってみましょう。

時代	化石名	どちらが考えられますか
中生代		海 or 陸
新生代 (海中生物を1つ)		暖かい海 or 冷たい海
新生代 (陸上生物を1つ)		砂漠 or 森林

2. 沖縄島のどの地域でアンモナイトは産出されていますか。

3. 沖縄で生息していたミヤコノロジカは、いつごろどうやって渡来してきたと考えられますか？

いつごろ :
どうやって :



地球の歴史を時代で表したものを「地質時代」といいます。地質時代は、先カンブリア時代、古生代、中生代、新生代に区分され、さらに「紀、世」と細かく分類されています。地質時代は、その時代に形成された地層や化石によって区分されているため、化石で時代を知ることができます。このような化石を「示準化石」といいます。また、限られた環境でしか生息できない生物の化石を「示相化石」といって、そのときの環境を推測することができます。さらに、化石とは古生物の遺骸（骨）だけでなく、卵や糞、巣のあとや足跡なども化石といい、このような化石を「生痕化石」といいます。いやはや、覚えるだけでも大変ですね！